

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 400

政策体系	23	事業分類	ソフト事業	所管部局	美山支所 産業建設課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 1. 農業費 - 3. 農業振 現年		
事業名	特別栽培認証制度推進事業				
細事業名	特別栽培認証制度推進事業				
評価表作成者				美山支所 産業建設課	大澤忠和

1. 事業の概要

消費者ニーズに合わせた安全・安心な野菜づくりのための独自栽培基準によるブランド化によって、特色のある産地の形成を行う。その制度の普及活動、販売促進業務を行う。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

消費者のニーズに合わせた減農薬・有機野菜づくりのための独自基準により、農産物のブランド化を図るとともに、資源循環型農業にも取り組むことにより、特色のある産地の形成を目指す。

② 事業を実施する必要性

独自の栽培基準により、消費者に安心感と信頼感のある農産物として確立し、野菜のブランド産地として農家所得の向上を図る。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	3,148	2,790	2,790	1,674	1,540	1,540	1,540
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,148	2,790	2,790	1,674	1,540	1,540	1,540
職員等の従事人員		人/年	—	0.30	0.12	0.32			
人件費		千円	—	1,739	794	2,329			
事業費総額		千円	—	4,529	3,584	4,003			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

特別栽培認証制度推進業務委託料	1,674,000円
委託料内訳	
人件費	1,540,000円
啓発用印刷物作成費等	134,000円

5. 事業結果の概要

事業推進マネージャー設置 1名 220千円×7ヶ月

6. 活動の詳細

(1) 産直活動推進		
NPO法人会員への産直 その他販促活動	通年 通年	計51回実施 産官学連携(北野) 6回 他
(2) 生産活動推進		
生産農家説明会等 堆肥づくり実習等	通年 通年	圃場巡回、勉強会等実施 8月 堆肥部会総会
(3) 生産者消費者交流		
産直会員との交流事業	10, 12, 2月	農作業体験、農産加工体験 等実施

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

農業従事者の高齢化が進む中、依然として消費者の食に対する安心・安全を求めるニーズは強い。認証基準や認証事務を簡略化することで、高齢の生産者でも参加しやすく、また、新たな生産者が参加しやすい環境をつくる必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

食の安心・安全に対する消費者ニーズが高まる中で、減農薬・有機野菜づくりのための独自基準によるブランド化と特色ある産地形成が求められている。
府下唯一のモデルタウンである美山有機農業推進協議会の活動を全市に拡大するとともに、生産者、消費者が共に納得できる独自の認証基準を確立し全市に普及していく必要がある。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
農薬・減化学肥料野菜及び有機野菜の推進は、地域ブランド確立の上でも重要であり、生産者の会員拡大と販路確保などについて議論を重ねた。
- ②当該事業のアピール事項
「美山有機農業推進協議会」が平成20年度に国のモデルタウンとして採択を受けた。有機野菜・有機米のブランド化を図り全市に拡大していきたい。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
生産者・消費者が共に納得できる認証基準を確立し全市に普及していく。